

慶應義塾大学SFC研究所  
X.SDG Lab.



資料 4

# SDGsの本質と 沖縄モデルへの期待

2019年8月6日

SDGsに関する万国津梁会議

慶應義塾大学大学院教授

蟹江憲史

# SDGsの特徴:未来基準と総合性

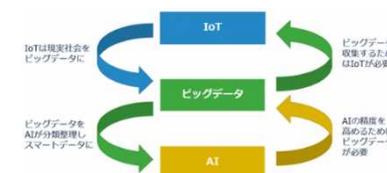
## 1. 新しい仕組み：目標ベースのガバナンス（governance through goals）

- 目標設定で野心レベルの提示からスタート→バックキャスティング
- 実施ルールはなし、法的拘束力もなし
  - ✓ 「未来のかたち」の魅力
  - ✓ 目標へ向けた行動のあり方は自由
  - ✓ イノベーションによる先行者利益の獲得
- ステークホルダー・国を超えた共通言語→協働、市場拡大へのメリット



## 2. 新しいものさし：測ることが唯一のメカニズム

- 未来との距離を測る
- ビッグデータ、衛星情報などによる新たな測り方→問題解決へ



## 3. 新しいアプローチ

- 17の視点から総合的に検討（少なくとも経済・社会・環境）
  - ターゲットで検討することが重要
  - ターゲット（や指標）はそれぞれの状況に応じて設定可能

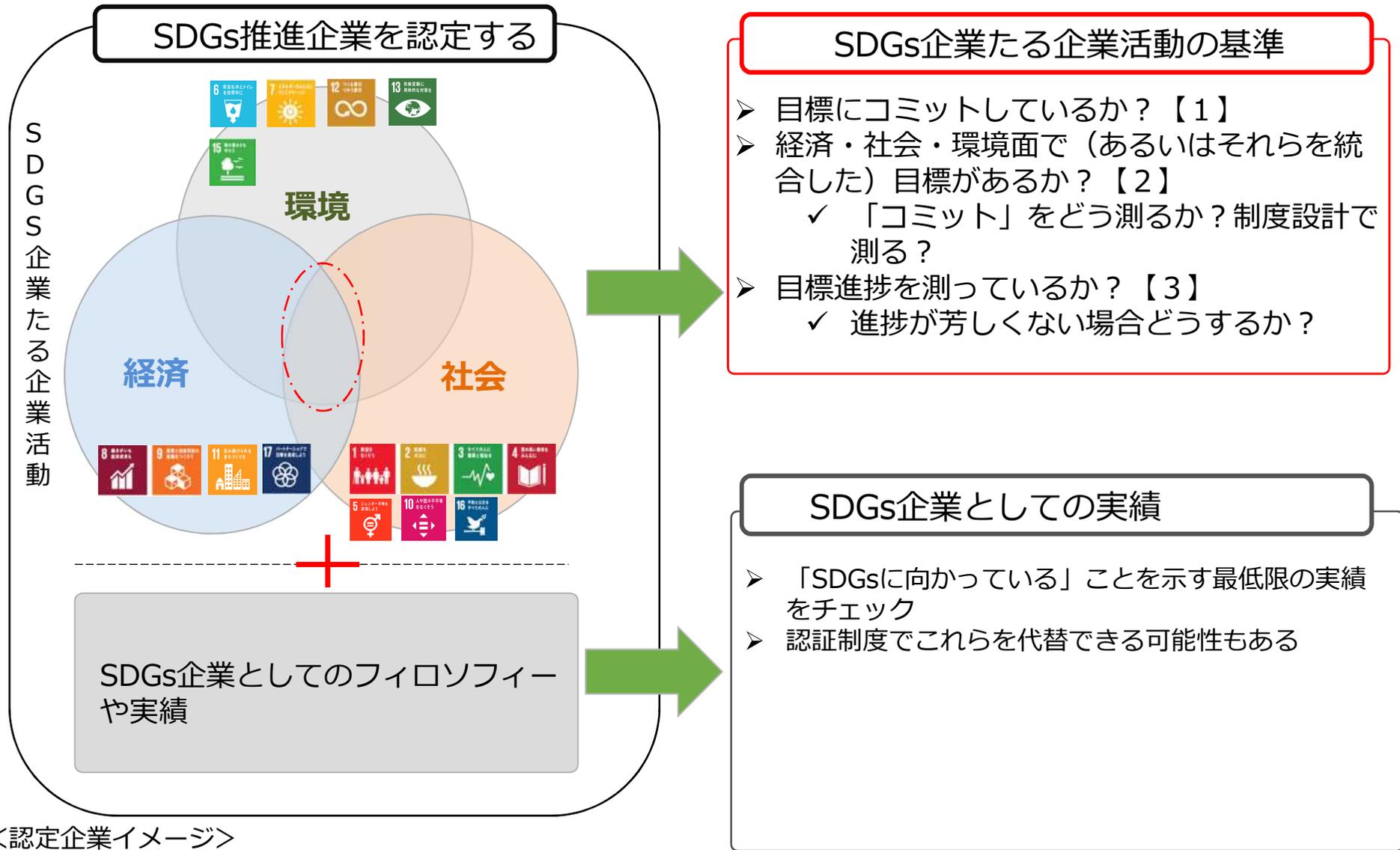


SDGs対応企業を応援  
する  
企業評価へ

# Investment solutions for global impact

Empowering investors with clarity, insights and tools to  
achieve the Sustainable Development Goals (SDGs)

# 課題への対応例：関東経済産業局／長野県の実践



## ＜認定企業イメージ＞

ex. 印刷中小企業者が、[FSC森林認証紙やノンVOCインキ（石油系溶剤0%）](#)を使用した環境印刷に取り組むとともに、[「4か国語版お薬手帳」等のSDGsを意識した新製品開発も実施](#)。さらには、[非正規労働者から正規労働者への登用制度を設け、従業員が活躍できる職場環境を整備（職場いきいきアドバンスカンパニー制度認証取得で代替可）](#)している。

# 【参考】提出資料のビジュアルイメージ（案）

- 提出資料のビジュアルイメージは以下のとおり。
- 地域によって社会課題は異なるため、地域の独自要件を付して、自治体が注力したい政策の推進に繋がる制度設計を自治体にて検討することも期待される。

※例示する本骨子案は、自治体が施策検討を進める際のヒント・気付きのツールとして活用頂くことを想定

経済・社会・環境の三側面のターゲットへのコミット（要件1）

●●都県◆◆

株式会社A社  
代表取締役 ■■

☐当社はSDGsの内容を理解し、以下を宣言するとともに、SDGs達成に向けて取り組みます。

**(1) 経済**

①SDGs達成に向けた取組

- 地元の木材（都県産材）を活用した、新商品開発を行う

②2030年に向けた指標

- 地元の木材（都県産材）を活用した商品数の割合を増加させる（2019年度▲商品（全体の▲%）→2030年度●商品（全体の●%））

③指標に対する進捗測定 . . . . .

**(2) 社会**

①SDGs達成に向けた取組

- 女性管理職比率を引き上げる。女性職員のアイデアを活かし、新たな顧客層向けの新商品開発を目指す

②2030年に向けた指標

- 女性管理職比率の20%増加を目指す（2019年度▲人（▲%）→2030年度●人（●%））

③指標に対する進捗測定

- 総務部が年1回女性管理職比率を自社のHPに公表する。採用パンフレットにも女性活躍事例を掲載する

**(3) 環境**

①SDGs達成に向けた取組

- 省エネルギーの取組、再生可能エネルギーの利用開始、新規設備投資により、製造工程において排出されるCO2排出量削減を達成する

②2030年に向けた指標

- CO2排出量の50%削減を目指す（2019年度▲t→2030年度●t）

③指標に対する進捗測定

- 総務部が年1回CO2排出量を測定し、自社のHPに公表する



SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（要件2）

	項目	具体的取組	対応するSDGs ゴール
☑	過度な長時間労働が行われていない	●●●●● ●●●●●	8 働きがい と経済成長
☑	外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	●●●●● ●●●●●	8 働きがい と経済成長 10 人や国の 不平等をなくす
☑	多様な人材（高齢者、女性、外国人等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	●●●●● ●●●●●	5 働きがい と経済成長 8 働きがい と経済成長 10 人や国の 不平等をなくす
☑	労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	●●●●● ●●●●●	4 質の高い 教育を すべての人に 4 質の高い 教育を すべての人に 8 働きがい と経済成長 9 産業と 雇用の 包摂的な 成長を つなぐ
☑	自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●●●●● ●●●●●	7 持続可能な エネルギー を すべての人に 13 気候変動に 適応する
☑	廃棄物の削減及び管理を適切に行っている	●●●●● ●●●●●	12 つくば 減らす 循環する
☑	紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	●●●●● ●●●●●	16 平和と公正 をすべての 人に
☑	知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	●●●●● ●●●●●	9 産業と 雇用の 包摂的な 成長を つなぐ
☑	地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	●●●●● ●●●●●	8 働きがい と経済成長 13 気候変動に 適応する

## 「地域SDGs推進企業応援制度（仮称）」を核にした地域における中小企業向けの支援の枠組み

- SDGs達成を通じた地域中小企業の価値向上・競争力強化を実現するためには、地域中小企業に対するSDGsの内容や企業経営への活用方法などの丁寧なレクチャーが重要。
- 認定・登録等に向けた入口支援（SDGsのレクチャー・ワークショップ・専門家派遣による伴走型支援）や認定・登録等後のSDGs達成に向けた取組を加速化させるための出口支援・インセンティブ（ネットワーキング、金融支援等）を合わせて検討することで更なる政策効果が期待される。
- 地域中小企業等に対するSDGs導入・競争力強化を実現していくためには、地域の様々なステークホルダーの連携によるナレッジ・リソースのサポートやインセンティブの提供が重要。例えば、既存の地域企業向けの勉強会でSDGsについて学習する、既存の支援策や金融商品等をSDGsに基づいて棚卸をし、課題解決に向けた取組にリンクさせる形で企業向けに提供する等のサポートも有効である。

### 中小企業向けの支援の枠組み（例示）



# SDGs実現への行動をすすめる発想

1. SDGsは2030年の世界のカタチ
  - 現状とのギャップこそがビジネスチャンス
  - 未来を先取りすることでメリットを：将来の標準を先取り
  - 17の視点へと視野を広げることでチャンスも拡大
2. 中長期経営計画/自治体総合計画/基本計画への反映
  - SDGs課題の解決が中長期的に社会的要求の高い課題
3. リスクへの対応
  - マネジメントリスク・レピュテーションリスク
4. 商品・製品・市場の開拓
5. 投資を呼び込む
  - サステイナブル投資が急増傾向
6. SDGsリーディングカンパニー・自治体としてのブランディング・宣伝効果
  - 2017年日本政府がレビュー報告、2019年は国連での首脳級レビュー
7. 指標の設定
  - 社内→業界→世界的認証/標準化制度構築
  - 表彰や優良事例/トップラナー制度による誘導

# 沖縄県におけるSDGs推進へ向けた提案

1. 県の重点課題（例えば海洋プラスチックや貧困など？）に重点を置いた「沖縄版SDGs」の設定
  - 経済優先型ではなく、環境、社会を含めた新たな未来基準の発展モデルを提示
2. 目標設定後は総合計画や各種計画へ反映
  - 市民参加、パートナーシップの強化で市民主体の計画づくりも一案
3. 新たな計測方法を含めて進捗を測る
  - 目標達成済み項目は県民の誇りへ
4. サステイナブルな取り組みを推進する自治体や企業・事業を支援→関東経済産局モデルの沖縄版の構築
  - 既存の取り組みでサステイナブルな取り組みをしているところも応援
  - 県や地元経済へのメリットも（例：健康推進→医療費関連支出の削減、地産地消→雇用創出効果など）
5. 優良事例の創出
  - SDGs未来都市恩納村モデルの構築からスタート



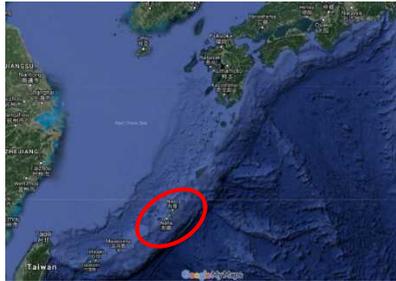
以下補足資料

# ニューヨークHLPFにおける議論の総括

- SDGs達成へ向けてポジティブ面の評価だけでなく、ネガティブな側面の影響も重要
- 事業評価とSDGsの評価の親和性あり
- サプライチェーン全体を通してみるのは重要
- ESG投資関連指標は現状では玉石混交、とはいえ競争に任せることが現時点では重要



# 読谷村 (沖縄県)



	読谷村
面積	35.17 m <sup>2</sup> (35.8% は米軍基地)
人口	41,376 (2017)
農業	従事者 250 菊、サトウキビ、パイナップル等
漁業	従事者 63 漁獲高 116t(2012)
観光業他	ホテル数 5、旅行者数 200万/年、陶磁器、食品産業等



Source: Sodeno.R (2017) "Study on Localization Process of Sustainable Development Goals in Costal Area: a Case of Okinawa", ISA Asia-Pacific Conference

フンシ マサ チムグクル サチフクルハナヤ ガンジュウヌシマ  
 ゆたさある 風水 優る肝心 咲き誇る文化や 健康の村

Based on Sodeno.R (2017) "Study on Localization Process of Sustainable Development Goals in Costal Area: a Case of Okinawa", ISA Asia-Pacific Conference

# ステークホルダーと関連目標



## フィールド調査から明らかになった課題 SDGターゲットとの関連

### ■人手不足（ターゲット8.5; 8.8; 8.9）

- 求める仕事の内容と供給される仕事の内容が異なり、人手不足。子育て中の母親の求職問題から、働いても長続きしない若者の問題まで背景は多様。
- オフシーズンでも、一年を通じて安定した職が必要

### ■定置網で漁獲した魚の販売が限られている（ターゲット12.3; 2.3）

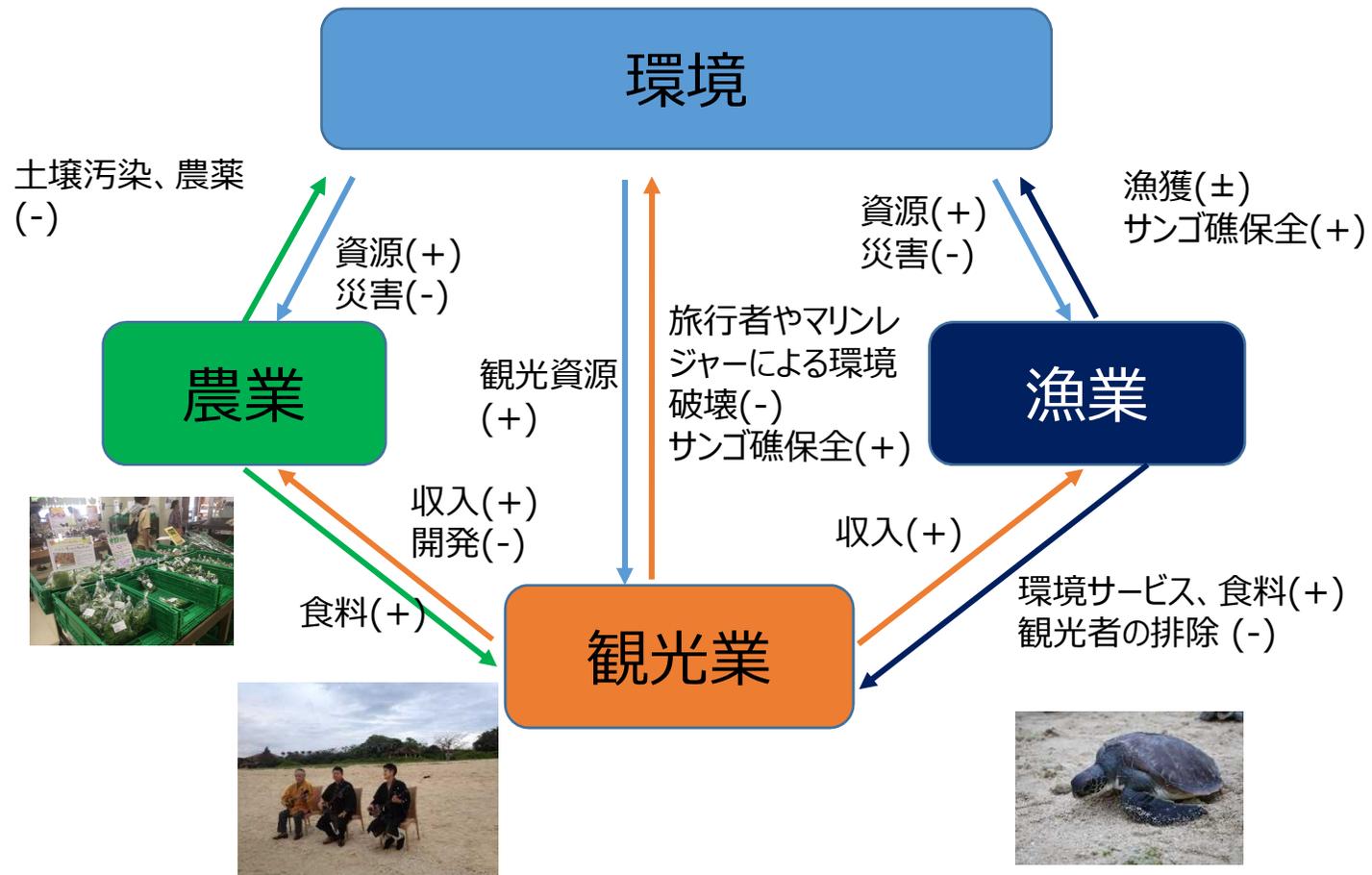
### ■基幹産業である菊栽培で利用される農薬が、サンゴ礁に影響（ターゲット2.4; 14.1; 14.2）

### ■地元と県外から入ってくる企業（チェーンホテル）とのパートナーシップがうまく機能していない事例があった（ターゲット17.16）

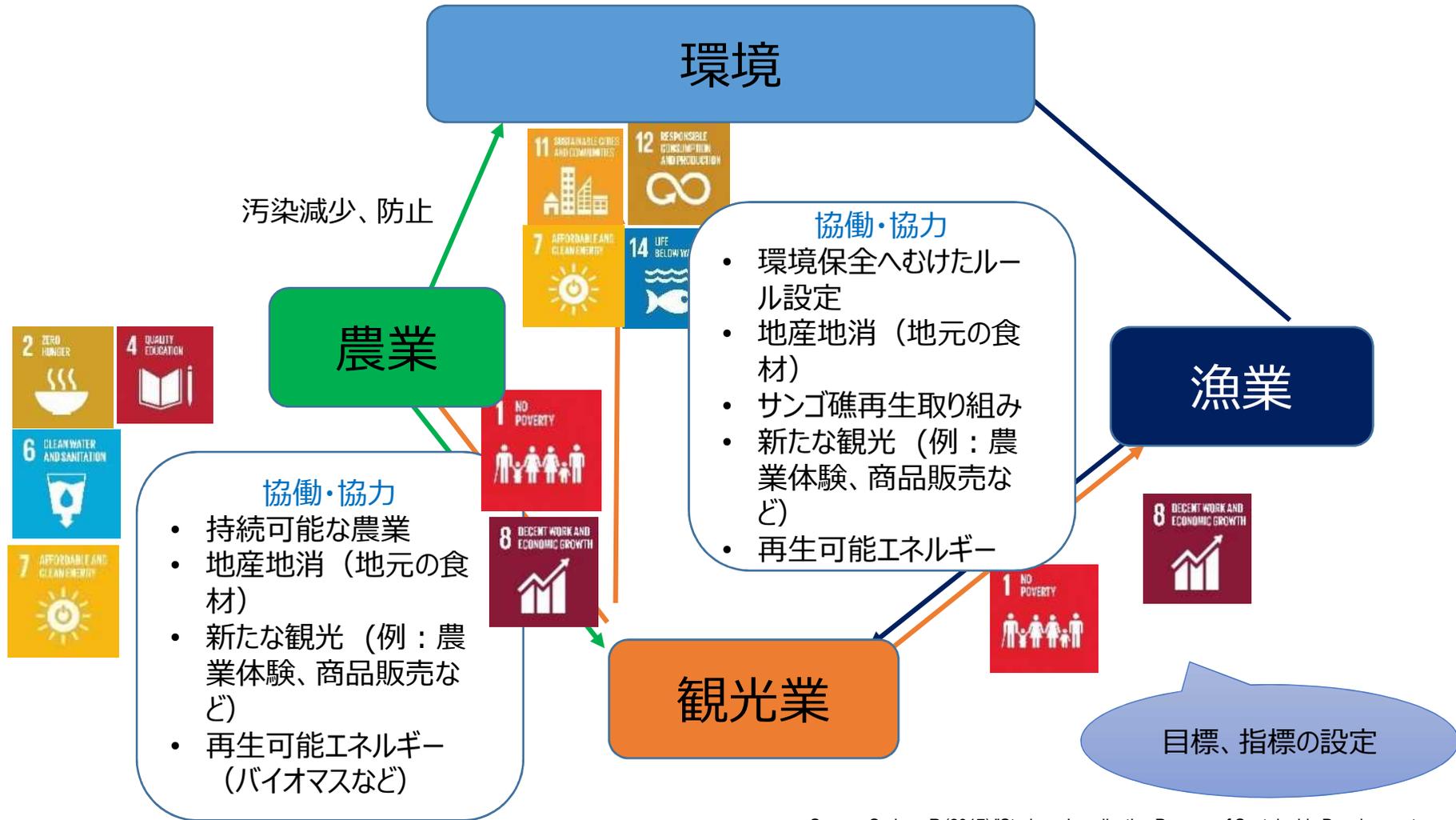
### ■村民は村民のための開発を目指すが、県外観光産業は村民よりも観光客のほうに重点を置く事例があった

### ■ラグジュアリーリゾートを強みとするホテルでの実施をどうするか（例：フードロス、地産地消）（ターゲット12.3; 目標13）

## 課題間の相互関係



# 統合的行動（皆が幸せになる成長）への可能性



Source: Sodeno.R (2017) "Study on Localization Process of Sustainable Development Goals in Coastal Area: a Case of Okinawa", ISA Asia-Pacific Conference